

46 大学生徒暴行の後悔悟・謹慎の者再入学許可の儀内申

〔明治十七年一月〕

昨十六年十一月廿七日大学諸生暴行ノ義ニ付夫々取調之上学生々徒百四十五名退学申付尚又当省直轄官立学校及公私立学校ニ入ルヲ禁シ他日謹慎悔悟ノ実有之ヲ認メ候ヘハ或ハ再入学ヲ許シ候儀モ可有之見込ノ程ヲモ内申及置候処追而右退学生ノ内五十八名ハ畢竟一時ノ勢ニ乗シ附従候マテニ而情状最輕ク二名ハ率先自首シソレカ為メ自然佗ノ衆多ノ悔悟ヲ来タシ且其後孰レモ只管謹慎前非ヲ悔候情実相見レ候段大学総理加藤弘之申出ノ趣モ有之則右六十名ノ者共今般特別ヲ以解禁シ再入学差許候条此段更ニ内申ニ及候也

(注記1)

明治十七年一月十五日 文部卿 大木喬任

太政大臣 三條實美殿

文部卿内申

昨年十一月大学諸生ノ中暴行之廉ヲ以テ退学セシメシ者ノ内

今般六十名再入学差許之事

右供高覽候也

十七年一月十七日

内閣書記官

太政大臣殿

右 大臣殿

山縣参議殿

伊藤参議殿

西郷参議殿

山田参議殿

①松方参議殿

大山参議殿

川村参議殿

②佐々木参議殿

(注記1)

〔十〕(簿冊内件名番号)

〔自明治十五年至同十八年
公文別録 文部省
2A.1.②29〕